

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教 科： 芸術

科 目： 美術Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 H1組 ・ H2組 ・ F 組 ・ A 組

教科担当者：（H1組：玉井 ）（H2組：玉井 ）（F組：玉井 ）（A組：玉井 ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 美術1 光村図書 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図にもとづいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な視点を豊かにするため、幅広い知識を深め、表現における創造的な技能を身に付けるようにする。	表現における発想や構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った見方や感じ方の能力を相互に関連して高めていけるようにする。	学習に主体的に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情や豊かな感性を育むとともに、美術を通して生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵・ 彫	デ	映							
1 学 期	オリエンテーション 鑑賞	【指導事項】 ・美術の授業について ・年間授業計画の説明 ・教科書に掲載作品の鑑賞 【教材】 ・教科書 ・参考資料 ・プロジェクター拡大画像				○	【思考・判断・表現】 「鑑」 作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態鑑」 美術や美術文化に関わる中で、創造性を駆使して表現された作品の、鑑賞・創造活動に主体的に取り組もうとしている。		○	○	4	
	私の見つけた風景<鉛筆画> 【知識及び技能】 風景の中の空間を表す活動を通して、形や色、構図などの感情に与える効果、造形的な特徴などを基に全体のイメージなどを捉え、鉛筆の特性を生かして創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 身近な場所の風景などから感じ取ったことや考えたことを基に、形や色、構図などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 風景から感じ取ったよさや美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	【指導事項】 ・水張りの方法 ・さまざまな描画材料 ・鉛筆デッサンの用具・材料 ・基本的な形の捉え方 ・遠近法について ・構図を考えながら場所の設定 ・設定場所で実際に透視図法を使い作図 ・光の方向を考え陰影をつけながら、対象物を観察する ・作品の充実度を見極める ・納得するレベルまで完成度を高める ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・パネル等水張り用具一式 ・DVD ・鉛筆画用具一式 ・資料プリント	○			○	【知能・技術】 「知」 風景の中の空間、形の効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などでとらえることを理解している。 「技」 意図に応じて鉛筆の特徴を生かし、表現方法を工夫し、主題を追求して創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」 風景を観察し、五感で感じ取ったことなどから主題を生成し、形や色、構図などの効果を考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」 風景を描く表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、風景画の見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」「態鑑」 風景描写による表現と鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	20
	立体表現<石彫> 【知識及び技能】 彫刻の形体、量感や質感、動勢やマッサなどの造形要素等について理解し、材料や用具を活用しながら創造的な表現の構想を練る。 【思考力、判断力、表現力等】 構成、質感などの表現を工夫し、主体的に主題を追求しながら心の中の感情を表すイメージの構想を練り、創造的に表現したり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 新しい視点で主体的に見つめる姿勢を醸成し、作者の心情や表現意図と表現の工夫などの感じ方を深め、創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・彫刻の美の要素 ・彫刻の表現と材料の種類 ・主題の生成 ・材料・用具の特性・使用方法 ・制作工程 ・構想を練る ・作品の充実度を見極める ・台座の工夫 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・DVD ・資料プリント ・ペーパークラフト用具一式	○			○	【知能・技術】 「知」 形・材質から伝わる特性を自分なりに分類でき、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」 意図に応じて材料の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 「発」 質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」 彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」 主体的に彫刻の調和や効果について、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」 主体的に彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。		○	○	○	16
	美術館を楽しむ	<夏季休業中課題>レポート作成				○			○	○	○	
	立体作品<石彫> 1 学期同様	1 学期同様	○			○	1 学期同様		○	○	○	12
2 学 期	平面構成 <植物を幾何学図形で表す> 【知識及び技能】 「植物」を題材にして、色彩、構図などの持つ働きを理解し、伝えたい目的に応じて吟味し創意工夫して創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 「植物」を深く観察し、調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、幾何学図形という表現形式の特性などを理解して心豊かに発想し、構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 表現の面白さを理解し、自分や他者の作品を通じて作者の意図や工夫を知り、主体的にデザインの表現の創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・水張りの方法 ・紙の種類 ・絵の具の種類 ・筆の種類 ・配置の法則 ・構成と構図 ・色彩について ・着彩の種類 ・溝引き、鳥口等道具の表現と使い方 ・作品の充実度を見極める ・さし色、きき色の効果を検討 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・資料プリント ・パネル等水張り一式 ・着彩用具一式		○		○	【知能・技術】 「知」 植物の題材を通して、色や形、五感を通して感じる事などを観察・思考する中で、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」 意図に応じて表現方法を創意工夫し、デザインの特徴を生かして、目的や計画を基に創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」 制作を通じ、美しさなどを考え、主体的に主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」 幾何学図形という表現形式の特性などについて考え、その表現のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」 植物から受ける印象やデザインの工夫について考え、主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」 デザインのよさや美しさを感じ取り、そこに込められた意図を汲み取って見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に主体的に取り組もうとしている。		○	○	○	6
	平面構成 <植物を幾何学図形で表す> 2 学期同様	2 学期同様		○		○	2 学期同様		○	○	○	10
3 学 期	展示 まとめ「これからの私と美術」	・生活と美術の関わりに目を向け、これからの生活の中で、美術を通して学んだことをどのように生かすことができるのか考えるとともに、「美術とは何か」について1年間の学びとともに振り返る				○						2 合 計 70

高等学校 令和 7 年度 (2 学年用) 教科 芸術 科目 音楽 I

单位数： 2 单位

使用教科書：（ ON！1（音樂之友社））

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】実技教科なので知識だけではなく、個々の個性、感性等も前面に出して見て表現を考察していく。

【学びに向かう力、人間性等】常識的な事をまずは基準として、物事を熱心に追求してそれらに対して力を惜しまない姿勢を常に持つ。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 同ような楽曲でも時代、民族、地理的なものなどによって演奏スタイルが異なる事は必然的なものとしてとらえ、それらを鑑みて様々な演奏スタイルを理解して実現できるように技能を高めていく。	・ テーマを見つけてそれぞれをある種のパターンに展開していく、単なる国語力のものだけではなく、それぞれの個性、感性等も加えて考察していく。	・ 授業態度などの当たり前のことはもちろん、課題を熱心に追求してそれらに力を惜しまない姿勢を常に持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			歌	器	創							
1 学 期	・毎回ヴォイトレを行い、楽器としての声を作る。 ・校歌を歌えるようにして中間試験の頃にテストをする。 ・音楽の名作映画を鑑賞して感想文と設問に答える。	・10分以内位の発声練習を行い楽器としての声作りをする。 ・校歌の楽譜を準備して歌えるようにする。 ・「天使にラブソングを」を動画で鑑賞。	○			○	行動観察		○	○	○	6
	・イタリアの歌(0 sole mio)をイタリア語で歌えるようにしてイタリアの歌のもつ情熱的で明るく表情豊かな音楽にふれ味わう。 ・「天使にラブソングを」の動画が終了したら感想文と設問に答える。	・まずは使用する教科書の日本語歌詞で日本語で歌えるようにする。イタリア語を読み、イタリア語で歌えるようにする。 ・校歌の歌唱テストを行う。 ・「天使にラブソングを」を動画で鑑賞して感想を指定の用紙に書き、設問に答える。	○			○	校歌の歌唱テスト。「天使にラブソングを」の感想文と設問のプリント。					6
	・イタリアの歌(Caro mio ben)を0 sole mio と同様に歌えるようにする。 ・イタリアの歌2曲の歌唱テスト	・0 sole mio かCaro mio ben を任意を選んで歌唱テスト。	○			○	イタリアの歌の歌唱テスト。					8
	・歌唱テストで聞いた声をもとにパート分けをして合唱をする。	・大抵の中学校で歌ったであろう「大地讃頌」を合唱する。	○				合唱			○		4
2 学 期	・ミュージカルについて理解する。	・「ウエスト サイド物語」よりトゥナイト を歌えるようにする。 ・まず日本語で歌えるようにして英語で歌えるようにする。「虹の彼方に」を同様にして歌えるようにする。 ・「ウエスト サイド物語」の動画を鑑賞する。	○			○	行動観察					16
	・ドイツリートを歌ってみる。 ・もう1本ミュージカル映画を見てみる。 ・歌唱テスト。	・「野ばら」を歌えるようにする。 ・日本語の歌詞でまずは歌えるようにしてドイツ語の歌詞を読み、ドイツ語で歌えるようにする。	○			○	歌唱テスト。「ウエスト サイド物語」の感想文と設問のプリント。					14
3 学 期	・「Oh!Happy day」を動きも付けて合唱してみる。 ・「天使にラブソングを2」の動画の鑑賞。	・3グループぐらいに分けて振りも付けた合唱。	○			○	行動観察					4
	・「Oh!Happy day」を動きも付けて合唱のテスト。	・3グループぐらいに分けて振りも付けた合唱のテスト。。	○			○	・「Oh!Happy day」を動きも付けた合唱のテスト。 ・「天使にラブソングを2」の動画の感想文と設問。					12
											合計	70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 H1 組～ A 組

教科担当者：（ 林 徳子 ）

使用教科書：（ 教育図書 書Ⅰ ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する教科の特徴について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着つけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形のよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や書に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢仮	漢	仮						
1 学 期	道具の並べ方道具の扱いを学ぶ。	書道用具のそれぞれの名称、使い方、配置などを学んでいく。				○	【知識・技能】 書を書く上での道具におけるさまざまな要素、特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。（表現「知識」） 【思考・判断・表現】 生活や社会における篆書の美と効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深くとらえる。（鑑賞） 【主体的】 人の意見をよく聞く。主体的に調べ考えを深める。	○	○	○	8
	書道には、文字の変遷の歴史、文化史、文学など多岐にわたる分野との関わりのあることを理解させる。	書道と書写の違いと書道から学ぶことを知っていく。			○	○	【知識・技能】 篆書を構成するさまざまな要素、篆書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。（表現「知識」） 【思考・判断・表現】 篆書の古典や臨書した作品の価値とその根拠、生活や社会における篆書の美と効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深くとらえる。（鑑賞） 【主体的】 人の意見をよく聞く。主体的に調べ考えを深める。	○	○	○	8
	自分の名前を書いてみよう	墨を磨って、その墨で書く。その際筆の持ち方、書き方に意識を向けて練習を重ねる。			○	○	【知識・技能】 漢字の書を構成するさまざまな要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。 【思考・判断・表現】 漢字の書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 ・漢字の書の特質に基づく創造的な表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○	○	○	8
	楷書の学習 孔子廟堂碑と九成宮醴泉銘	筆法の相違点を認識する。実際に書くことによって筆法の違いを確かめ実感させる。 孔子廟堂碑と九成宮醴泉銘の特徴を確認して、臨書の練習を重ねる。清書して提出。	○	○		○	【知識・技能】 楷書を構成するさまざまな要素、楷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。 【思考・判断・表現】 楷書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 【主体的】 人の意見をよく聞く。主体的に調べ考えを深める。	○	○	○	10

2 学 期	行書について	蘭亭序から行書の基本的な特徴を学ぶ。行書の筆法を身に着ける。蘭亭序から行書の基本的な特徴を学ぶ。行書の筆法を身に着ける。行書を中心とした作品を制作する。			○	○	【知識・技能】行書を構成するさまざまな要素、行書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。 【思考・判断・表現】行書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。 【主体的】行書の古典の特質に基づく創造的な表現活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○	○	○	10
	仮名を知る。	漢字を字源とする仮名文字の構造を理解する。古典の臨書から、仮名の特性を理解し書き込んで仮名の美に近づき身に着ける。仮名の古典の臨書または創作に挑む。			○	○	【知識・技能】仮名の書の線質、字形等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深める。（鑑賞「知識」） 【思考・判断・表現】仮名の書の古典と制作した作品の価値、生活や社会における仮名の書的美と効用と現代的意義について考え、書的美しさを味わって深くとらえる。 【主体的】仮名の書のよさや美しさを感じ、作品や書の意味や価値について考えながら、創造的な鑑賞の学習活動に主体的に取り組み、書に関する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○	○	○	10
3 学 期	漢字かな交じりの書の基礎を学ぶ	漢字と仮名の調和を考え、多様な表現のあることを知る。	○			○	【知識・技能】漢字と仮名の書を構成するさまざまな要素、古典の特徴と用筆・運筆との関わりを理解する。（表現「知識」）【思考・判断・表現】仮名の書の表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫する。【主体的】書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	○	○	○	8
	漢字かな交じりの書の基礎を学ぶ 創作の基礎を学ぶ	創作活動の基本的な手順、準備などの知識を得て、実践していく。			○	○	【知識・技能】自分の選んだ表現技法の基礎的な方法を理解している。【思考・判断・表現】自分自身を理解し、学んだ知識を使ってよりよく表現しようとしている。計画的に進め完成させることができる。【主体的】自分の見方、表現について課題をみつけれられているか。自分の個性に気づき、伸ばすことができている。	○	○	○	8 合計 70